



# 金井高校だより

平成 28 年度 7 月号

神奈川県立金井高等学校

045 (852) 4721 (代)

平成 28 年 6 月 28 日 (火)



校長 富樫由里子

1 学期も 1 ヶ月を残すところとなりました。6 月を振り返れば、2 日の授業公開では多くの保護者や中学生、地域の方々においでいただき、8 日の陸上競技大会では 2 種目で大会記録が更新されました。3 年生は模擬投票や地域貢献活動を実施、1、2 年生対象にキャリア学習の一環としての卒業生講話や科目選択説明会なども行われました。5 月 30 日から教育実習に来ていた 7 名の先輩方は、17 日で実習を終え大学に戻っていきました。いよいよ 7 月。1 日からは期末テストが始まります。学習の成果を確認するとともに、自分自身の課題を把握し、次のステップにつなげる機会にしてください。

さて、近頃、1 年生の生徒がよく挨拶をしてくれるようになったと感じています。入学したばかりの頃はどのようにしてよいのかがわからず、挨拶することをためらっていたのが、先輩の元氣よく挨拶する姿を見て、自然に「こんにちは」が口をついて出るようになったのかと思っています。人と関わりたいという気持ちをどんなにたくさん持っても、周りの人に見せることはできません。できるだけ笑顔でいる、自分から声をかける。そのような行動があつて初めて伝わります。昨年度、「40 周年を祝う会」でご講演いただいた同窓生の腰塚勇人先生は、「5 つの誓い」として次のように言っていました。「口は人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう」「耳は人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう」「目は人のよいところを見るために使おう」「手足は人を助けるために使おう」「心は人の痛みがわかるために使おう」。腰塚先生は、自分の心身は、周囲の人とより良く関わり合うために使うべきであるということをおっしゃっているのでしょうか。そしてそれを可能にするための第一歩は挨拶、そして笑顔だと思います。笑顔は世界共通語。早く長く走れるようになるためには走るしかない、勉強ができるようになるためには勉強するしかない、同じように、素敵な笑顔の持ち主になるためにはできるだけ笑顔でいることが大切です。以前も集会の時に「楽しいから笑うのではなく、笑うから楽しくなる」「気持ちが行動を生むのではなく、行動が気持ちをつくる」という話をしました。自ら笑顔を心がけることでより素敵な笑顔の持ち主になってほしい、そして笑顔あふれる学校を金井高校生自身で作上げてほしいと思います。

7 月、暑さ本番を迎えます。質の良い食事と睡眠を心がけ、勉強に部活動に大いに励む皆さんの姿が見られることを期待しています。

## 「夢かないエコクッキング」で千秀小と交流

6 月 11 日、千秀小学校の児童や保護者の方をお招きして「夢かないエコクッキング」が行われ、本校の食育推進係の生徒と一緒にピザを手作りしました。係の生徒は、生地をつくる際に「砂糖でもよいけれど、蜂蜜を使ったほうが発酵は進みやすいです」などと説明。最初はお互いに遠慮がちでしたが、すぐに打ち解けて楽しそうに調理台を囲んでいました。

食育推進係は今年も文化祭で「夢かないパン」を販売する予定です。どうぞお楽しみに。



## 自転車の乗車マナーアップを

金井高校では多くの生徒が通学に自転車を利用していますが、並走やスピードの出し過ぎ等の状況が改善されていないようです。自転車は車両の仲間、どのような場所でも歩行者を優先して走らなければなりません。自分の行動が周囲の方々の目にはどのように映っているのか。自分を見つめるもうひとつの目を持ちたいものです。

欠席等の電話連絡は各学年へお願いします

1 学年 045-852-4716

2 学年 045-852-4718

3 学年 045-852-4719

